

年度

邸

合併処理浄化槽設置整備事業

チェックリスト

施工者

【工事写真】

	写真の種類	チェックポイント	レ	備考
1	浄化槽設備士が実地に監督していることを証する写真	浄化槽設備士が実地に監督しているか。 または、自ら工事を行っているか。	<input type="checkbox"/>	・設置場所において、国土交通省「浄化槽工事業に係わる登録等に関する省令第9条」に定める別記様式第8号・同9号による標識看板と共に浄化槽設備士を写す。
2	床付けの完了状況を示す写真	基礎を施工するため、所定の深さまで掘削が済み、規定面のおりに仕上げられているか。 地盤の崩壊等のおそれがあるときは、山留めを設けること。	<input type="checkbox"/>	・工事場所、日時、工程を示した標識と共にスケールなどの機材も写す。
3	基礎砕石敷設転圧工事状況を示す写真	栗石の施工が適正に行われているか。 割栗石：大きさ45mm内外の砕石	<input type="checkbox"/>	・栗石または砕石においてランマ等による転圧作業を行っているところを写す。
4	基礎工事の状況を示す写真	栗石の施工を行った後、捨てコンクリートを所定の厚さ（50mm以上）で打設しているか。	<input type="checkbox"/>	・栗石の施工が分かる写真（栗石のつき固めが終了後、深さの分かるスケールと共に写す）
5	基礎工事の状況を示す写真（基礎工事の配筋）	基礎工事の基礎底版コンクリートに配筋がされているか。 鉄筋：D10-@200シングル	<input type="checkbox"/>	・型枠及び配筋の状況が分かる写真（ピッチが分かるスケールと共に写す）
6	基礎工事の状況を示す写真（基礎底版コンクリート）	基礎底版コンクリートが所定の厚さに打設されているか。 厚み：150mm(100)以上	<input type="checkbox"/>	・コンクリート養成後、コンクリート厚の分かるスケールと共に写す。
7	浄化槽本体及び浄化槽搬入状況を示す写真	設置申請どおりの人槽・処理方式であるか。	<input type="checkbox"/>	・現場での浄化槽本体の搬入状況、及び本体に明記されているメーカー・型式・人槽が判断できる写真を写す。

8	据付工事の状況を示す写真	水張りを行い、水平を保ちつつ、水じめ及び突き固めを行っているか。	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・水張りを行い、本体の水平を確認しつつ、埋め戻し作業を行っていることが分かる写真を写す。 (本体の水平を示す水準器、埋め戻しの高さを示すスケール、水じめ用ホース、突き固め用具を写す)
9	かさ上げの状況を示す写真	かさ上げの高さは、概ね30cm以内	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブの上端からマンホールの蓋までの距離が分かるようにスケールをあてた写真を写す。
10	上部スラブコンクリートの配筋状況を示す写真	上部スラブコンクリートに配筋がなされているか。 鉄筋：D10-@200シングル	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・配筋の状況が分かる写真（ピッチが分かるスケールと共に写す）
11	上部スラブコンクリート状況を示す写真	上部スラブコンクリートが適当な厚さで打設されているか。 コンクリート厚：80～150mm前後	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートが養生され、コンクリート厚が分かるスケールと共に写す。
12	ブロアの設置状況を示す写真	ブロアの設置場所等が適正に設置されているか。	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロア、屋外用コンセント、アース工事及び送気管とブロアの接続状況が分かるように写す。
13	浄化槽工事が竣工したことを示す写真	工事終了後、残土処理や後片付けが適正にできているか。	<input type="checkbox"/>	

【試運転チェックリスト】

	検査項目	チェックポイント	レ
1	かさ上げの状況	バルブ操作等の維持管理を容易に行うことができるか。	<input type="checkbox"/>
2	浄化槽本体の水平状況	水平が保たれているか。	<input type="checkbox"/>
3	浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行いきい場所に設置されていないか。	<input type="checkbox"/>
		保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか。	<input type="checkbox"/>
		スラブコンクリートが打たれているか。	<input type="checkbox"/>
4	漏水の有無	漏水が生じていないか。	<input type="checkbox"/>
5	接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損がないか。	<input type="checkbox"/>
		しっかり固定されているか。	<input type="checkbox"/>
6	ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	しっかり固定されているか。	<input type="checkbox"/>
		防振対策がなされているか。	<input type="checkbox"/>
		各装置に変形や破損がないか。	<input type="checkbox"/>
		空気の出方や水流に片寄りがないか。	<input type="checkbox"/>
		アースはなされているか。	<input type="checkbox"/>
		漏電のおそれはないか。	<input type="checkbox"/>
7	消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損がないか。	<input type="checkbox"/>
		しっかり固定されているか。	<input type="checkbox"/>
		薬剤筒が傾いていないか。	<input type="checkbox"/>

【工事施工チェックリスト】

No.	検査項目	チェックポイント	レ
1	流入管渠及び放流管渠の勾配	汚物や排水の停滞がないか。	<input type="checkbox"/>
2	放流先の状況	放流口への放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれがないか。	<input type="checkbox"/>
3	誤接続等の有無	生活排水が全て接続されている。	<input type="checkbox"/>
		雨水や工場排水等が流入していないか。	<input type="checkbox"/>
4	ますの位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定の間隔ごとに適切なますが設置されているか。	<input type="checkbox"/>
5	流入管渠、放流管渠及び空気配管の変形、破損のおそれ	管の露出等による変形、破損のおそれがないか。	<input type="checkbox"/>
6	ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置、稼働状況	ポンプますに変形や破損がないか。	<input type="checkbox"/>
		漏水のおそれがないか。	<input type="checkbox"/>
		ポンプが2台以上設置されているか。	<input type="checkbox"/>
		設計通りの能力のポンプが設置されているか。	<input type="checkbox"/>
		ポンプの固定が充分か。	<input type="checkbox"/>
		ポンプの取外しが可能か。	<input type="checkbox"/>
		ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれがないか。	<input type="checkbox"/>

上記のとおり確認したことを証します。

令和 年 月 日

担当浄化槽設備士氏名

印

(浄化槽設備士免状の交付番号

)